

消防車も救急現場に駆けつけることがあるP A連携



最近、防災無線での火災を知らせるサイレンは鳴っていないのに救急車と消防車がサイレンを鳴らし同時に走っているところを見かけたけど、これは火事なの？救急なの？



A

消防署では、119番受付時に「意識がない。呼びかけても返事がない。全然動かない。」などの通報を受信した場合や通路が狭くて救急隊だけでは搬送困難などが予想される場合（三ツ石海岸での救助など）は、救急車に加え消防ポンプ自動車も出動させます。

出動は、救急車の隊員3名に加え、ポンプ車へは3～4名の隊員が乗務して現場へ向かい救急活動の支援を行います。この消防ポンプ車（Pumper）と救急車（Ambulance）を同時に出動させることをそれぞれの頭文字をとってP A連携といい、全国の消防署で行われています。

P A連携は、心肺停止状態の傷病者に対し高度な救命処置を行うことや搬送困難な場所から医療機関へ迅速に搬送することができるため、救命率の向上を図ることができます。



◆真鶴町での救急車出動状況

昨年、真鶴町での救急車の出動件数は427件で、町民の約20人に1人が救急車を利用した計算になります。救急件数の内訳は、急病がもっとも多く290件で全体の約7割を占めています。2番目が一般負傷の77件、3番目が交通事故の26件、以下水難事故の11件、転院搬送の11件と続きます。

この救急出動の中には34件のP A連携があり、件数は増える傾向にあります。



「救急車を呼んだのに消防車も来た」ということがあります。これはP A連携によるものです。ご理解とご協力をお願いいたします。

登録制メールについて

町からの災害時の情報伝達や防犯情報、防災行政無線の放送内容などを、ご希望の電子メールアドレスへ配信するサービスをしております。本サービスをご利用いただくためには、メールマガジンへの登録が必要です。※登録方法が不明な場合などは総務課防災係にお問い合わせください。

真鶴町お知らせメール 登録手順(下記QRコードを読み込んでください。)

PC・スマートフォンの場合



フィーチャーフォン(ガラケー)の場合



※読み取れない場合は、下記アドレスに空メールを送信してください。

t-manazuru@sg-p.jp

☐問い合わせ 総務課 ☎内線314